

女性部主張発表大会で 福永さんが最優秀賞に！ (7月19日)

7月19日、近江八幡市のホテルニューオウミで開催された県商工会女性部「主張発表大会」に、湖北ブロックの代表として米原市商工会の福永富士子さんが出場され、みごと最優秀賞を受賞されました。

福永さんは、新たに創作した料理「ピワマスのさつまあげ」のレシピの発案から完成に至るまでの過程について、熱弁をふるわれました。

9月には神戸で開催される近畿大会に出場される予定です。地域のアピール頑張ってくださいね！



双葉中学校で奉仕活動 ベンチを制作 (7月27日)

長浜建築組合近江支部のみなさんの奉仕活動が、7月27日に双葉中学校で行われました。

地域へ恩返ししようと、本職の技術を生かした活動として、30年以上前から続いています。例年、地域の学校や幼稚園などの依頼によって夏に実施され、今回は双葉中学校でベンチ10脚が制作されました。

参加された30代～70代の支部員9人のみなさんは、子どもたちのためにと汗をかきながら丁寧に作業を進めておられました。



ちょっぴり涼しくなった!? おばけのおはなし会 (7月29日)

7月29日、おばけをテーマにしたイベントが、近江図書館で開催されました。

おはなし会では、おおかみややまんばなどが登場する少し怖い3つの物語を、エプロンシアターやパネルシアター、大型絵本で演出。集まった子どもたちは、ときに身を乗り出しながら物語の世界を楽しんでいました。

また、当日は談話室が「おばけのへや」に仕立てられ、隠れているおばけの姿を探そうと、子どもたちの歓声が響いていました。



まいばら
まんすりー
れぽーと

皇太子さまが来県されました (7月23日・24日)

皇太子さまが、大津市で開催された第48回献血運動推進全国大会に出席のため、7月23日と24日の2日間、滋賀へ来県されました。

7月23日の12時前、米原駅に到着された皇太子さまを嘉田県知事や泉市長、堀川市議会議長らがお出迎えしました。また、公式行事では17年ぶりのご来県となる皇太子さまにぜひお会いしたいと、米原駅の東口や市内の沿道には約900人もの方が集まり、皇太子さまも笑顔で応えておられました。



市内出身の歌手が 市長を表敬訪問 (7月26日)

8月発売の歌謡演歌「薔薇の涙」でデビューする近江さくらが丘出身の沢田正人さんが、7月26日に泉市長を表敬訪問されました。

沢田さんは高校卒業後に上京し、パソコン関係の仕事などに携わりながら、2年前から地域のカラオケ大会で数々の賞を受賞。そして作曲家の樋口義高さんに見初められて弟子入りし、今年5月の日本アマチュア歌謡祭でグランプリに輝いたことがメジャーデビューの後押しとなったそうです。今後のご活躍を期待しています。



まいばら

まんすりーれぼーと



ロンドンオリンピックが開幕しました。全国高校野球選手権大会も始まりますので、節電に配慮しながら、テレビでスポーツ観戦に熱中する夏となりそうです。こうした中、滋賀県では、12年後に見込まれる2巡目の国民体育大会(国体)の開催に向け、国体検討懇話会を設置されました。

私も県市長会代表委員として懇話会に参加していますが、31年前に開催された「びわこ国体」から、競技施設の老朽化や施設基準の改正により、課題は山積している状況です。

こうした大会は、往々にして、大会本部で細部まで決められ、型通りのものになりがちです。私は、トップアスリートだけが参加する大会でなく、地域住民に広く開かれ、地域の自主性によって、後々につながるべく、高齢者も参加して健康増進にもつながる仕組みになるよう進言しています。

その一つに、前回、ホッケー会場となった旧伊吹町では、今日まで「ホッケーのまち」として地域ぐるみでホッケー競技が盛んに行われ、国体を契機としたまちづくりのモデルとして、高い評価を得ているところ。このように、地域が主体となる滋賀らしい国体への検討が進められ、地域の絆で築く元気な米原市づくりにつながっていくことに期待しています。

米原市長 泉 峰一

(8月1日記)